



2020 年 10 月 1 日発行 No.37



社会福祉法人
岡崎市福祉事業団



〒444-0802

岡崎市美合町字下長根2番地1 (高齢者センター岡崎内)

TEL (0564) 55-0111 (代表)

FAX (0564) 55-0156

ホームページ <https://www.okazaki-fukushi.or.jp/>

2020 年 4 月オープン

こども支援センターすだちの紹介



スクーターボードに乗って
しゅっぱ〜っ!!



スプーンを上手に使おう

つながる支援
つながる未来



好きな色でお絵かきするよ〜☆

児童発達支援



形をマッチングして
七夕飾りの
制作をしたよ♪

保育園や幼稚園と並行して
通い、小集団での関わり方や、
ルール、身の回りのことなどを
学ぶことで集団生活を過ごし
やすくするための施設です。

放課後等デイサービス

小集団活動や個別学習、課外
体験などにより、今後の生活を
より豊かなものにするための
支援を行っています。



みんなで仲良く
プーランヨ!!

保育士、社会福祉士、理学療法士などさまざまな資格を有する職員が
連携し、一人ひとりに合わせた支援計画を作成・実施しています。

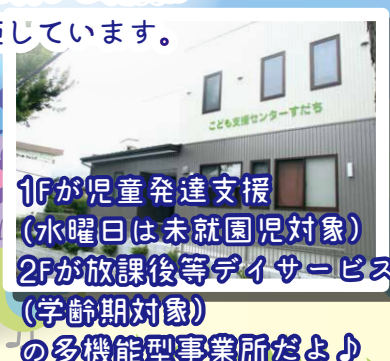


小集団活動♪
トンネルくぐれたかな?



朝の会♪きょうのお楽しみは
なにかな?

「すくすくそだつこどもたち」♪



1Fが児童発達支援
(水曜日は未就園児対象)
2Fが放課後等デイサービス
(学齢期対象)
の多機能型事業所だよ♪

こども支援センター すだち

所在地 〒444-0011 岡崎市欠町字清水田56-1

問い合わせ 児童発達支援 0564-73-5505

放課後等デイサービス 0564-73-5525



リハビリ専門職



理学療法士



言語聴覚士



歯科衛生士



看護師



作業療法士

気温・湿度の高い浴室であっても、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため夏用マスクを導入しました。

デイサービス

こども発達支援センター

こども発達センター内に、こども発達支援センターがあることから、すくもの啓発活動の一環として職員がすくものキャラクター入りのポロシャツを着用しています。



“ともに受け止め育てる”の信念のもと、お子さんがよりよい環境で育つように関わる全てのかたを応援します。

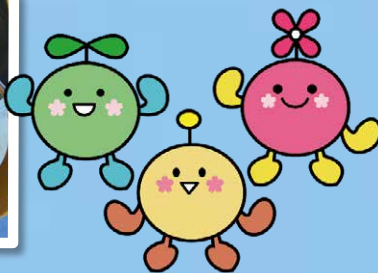
小学校三年生までの保護者同伴のお子さんとあれば一般開放時間にゆうぎしつをご利用いただけます。

放課後等デイサービス

(あずき・みどり・すだち)

生活介護・就労施設の体験実習に参加することができます。

各種サービスについて、どんなことをしていて何が必要になってくるかなど、早期に体験をすることで将来の選択肢の幅がひろがります。



「栗作業所」等
職場へ伺い必



岡崎産

たべてみりん のぞみのハラペーニョ



栽培から製造まで利用者さまと職員が一緒に行います。

ハラペーニョはメキシコ原産のとうがらしです。最初は緑色ですが、熟すと鮮やかな赤色に変わります。

杉田館長がメキシコ・アメリカ南部を旅した時、ハラペーニョのピクルス、ソースに出会いました。独特の風味を持ったピクルスの再現をめざし、栽培からピネガーの選定を得て、のぞみのハラペーニョが誕生しました。

おすすめの食べかた

“ピザやパスタにのせて！”
ハラペーニョのピリッとした辛さが料理に刺激を加え、そして後からじんわりとハラペーニョのうまさが広がります。

“サラダに混ぜて！”
あら刻みにしたハラペーニョを、ドレッシングの代わりに液ごと混ぜれば、酢の酸味とハラペーニョの辛みがとけあった、独特の風味が楽しめます。

“絶品ソースに！”
ゆで卵、マヨネーズと混ぜればタルタルソース風の絶品ソースになります。サンドウィッチやソーセージに合わせれば、今まで食べたことのないハラペーニョのうまさとお辛みに感激すること間違いありません。

のぞみの家だけではなく、新東名高速道路NEOPASA岡崎や市内の飲食店でも取り扱ってより独特の風味が楽しめる“のぞみのハラペーニョ”ぜひ食べてみりん♪



福祉の村 のぞみの家

所在地 〒444-0011

岡崎市欠町清水田6番地2

問い合わせ 0564-25-9300



利用者さまと職員が一緒になって楽しく作物を育てています。

北部地域福祉センター

一年通して利用者さまに喜んでいただけるイベントを開催しています。



リハビリ専門職は、さまざまな介護予防事業に取り組んでいます。デイサービスでは運動・口腔・栄養などの機能訓練を行っています。また、介護予防教室の講師や、老人クラブのイベントなどに参加し、皆さまの健康長寿の手助けをしています。



友愛の家

各種講座や楽しいイベントをたくさん開催しています。



希望の家

就労移行支援事業では、今年度3名のかたが”フ”に就職しました。就職後6か月間は、集中的に必要に応じたサポートをしています。就労された方々が十分に能力を発揮し、より長く働き続けていけるよう各関係機関と連携し、新たな世界での活躍を応援しています。



新型コロナウイルスに感染しない！感染させない！

・ソーシャルディスタンス確保

・WEB 会議

・オンライン研修

・消毒・換気の徹底

・マスク・手指消毒剤配付

・アクリルボード設置

・入館時の検温・体調聞きとり

・新型コロナ休暇導入

・注意喚起アナウンス

・分散勤務

利用者さまと職員を感染から守るため、各事業で予防・対策に取り組んでいます

高年者センター岡崎

“敬老芸能祭”では、自主講座の舞台発表や高校生の演目など2日間にわたる世代間交流イベントを開催しています。

“センターまつり”では、自主講座の作品展示会や定期教養講座の舞台発表、また劇団を招いて上演会を行うなど年間行事の中でも最大級の規模で開催するお祭りです。



東部地域福祉センター

9月初旬、舞木一区の老人クラブ弥栄会のかたが草刈りをしてくださいました。残暑厳しい中、早朝に活動していただきありがとうございました。



西部地域福祉センター

地域の園児（矢作西保育園・矢作こども園）や生徒（矢作中学校・岡崎城西高等学校）と高齢者との世代間交流を行っています。



中央地域福祉センター

毎月1回最終火曜日に地域の通りでごみ拾いを有志に行っています。（4月からはコロナのため施設内で活動）

南部地域福祉センター

地域包括支援センターと協働して“よってみりん南部”を開催。地域の高齢者と子どもたちとの世代間交流を行っています。

そだちの家

地域交流の一環で年に2回、市内の喫茶店に出かけています。利用者さまが好きな飲み物やケーキを自ら選び、おいしくいただけます。とても人気の高い活動です。



北部地域福祉センター

世代間交流イベントとして地域の保育園児と風鈴作りや絵画作成を行ったり、小学校で認知症サポート研修を行ったりして、高齢者への理解を深めています。岡崎女子大学と協働して開催する“笑と浪漫サロン”では世代を超えての交流を楽しめます。

各施設

年4回（春・夏・秋・年末）横断歩道に立ち、交通安全を啓発する運動を行っています。



こども発達支援センター

保育士および教員の養成のため、実習生を積極的に受け入れています。

こども発達センター体育館棟

体育館をはじめ、研修室や多目的室、調理室があり、目的に応じてご利用いただけます。



にじの家

夏と冬の年2回、竜海中学校吹奏楽部や岡崎特別支援学校音楽部を招いて演奏や車いすダンスを披露してもらっています。



友愛の家

障がいをお持ちの方だけではなく、高齢者や子ども、一人暮らしの学生など、同じ食卓を囲んで一つになれる場所として、月に1回“みんなの食堂”を開催しています。障がいのあるかたや高校生以下は無料です。一般のかたも低料金でご利用いただけます。



児童発達支援（みどり・すだち）

職員が地域の保育園や幼稚園に訪問し、そこのお子さんの様子や支援方法・課題の共有を行い、お子さんがより生活しやすくなるよう支援しています。



2019年度にご寄附をいただいた方々を紹介します

石川 春次さま、岡崎市公益協会さま、おかざきの自然環境を考える会さま、桂 鷹治さま、假屋園 英人さま、希望の家保護者会さま、近藤 ヒサ子さま、フタバ産業労働組合さま、本田 光代さま、マルヤス工業株式会社さま、山中学区舞木一区弥栄会さま（五十音順）

ご寄附・ご寄贈ありがとうございました。



決算の詳細、事業報告、現況報告書等はホームページを御覧ください。

<https://www.okazaki-fukushi.or.jp/about/gaiyou>

岡崎市福祉事業団

検索



編集後記：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントの中止や延期、施設の閉鎖など各地域の利用者さまには大変ご迷惑をおかけしております。今後も徹底した新型コロナウイルス感染症対策をおこなってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。